

(様式 2)
議事録番号

提出 2012 年 8 月 30 日

会合議事録

研究会名：原子分解能ホログラフィー研究会

日 時：2012 年 8 月 25 日 (土) 11:30-13:00

場 所：大阪大学 吹田キャンパス コンベンションセンター会議室 2

(SPring-8 シンポジウム 2012 のサテライト研究会)

出席者：岡田 京子(SPring-8/JASRI)、佐々木 裕次(東大物性研)、白澤 徹郎.(東大物性研)、大門 寛 (奈良先端大) 八方 直久 (広島市大)、林 好一 (東北大学)、藤原 秀紀 (大阪大)、細川 伸也 (熊本大学)、藤田 将喜 (奈良先端大)、安田 馨 (奈良先端大)

計 10 名

議題：

- 1) 研究の進展状況などの報告、及び来年度の研究会の活動方針の策定、議論。
- 2) SPring-8 次期計画に関する事項：SPring-8 へのフィードバックや希望調査。

議事内容：

以下の 5 講演があり、各々に対して質疑応答を行った。そして、今後のホログラフィー測定法(測定対象は単結晶)および本研究会の向かうべき方向性、新規ユーザーの獲得や本分野の裾野拡大をいかにするか等の検討を行った。

大門 寛(奈良先端大)：「SPring -8 における原子分解能ホログラフィーの戦略」

林 好一(東北大学)：「今後の原子分解能ホログラフィー研究会の活動」

八方 直久(広島市立大学)：「ユーザーフレンドリーなホログラフィ測定」

佐々木 裕次 (東京大学)：「1 分子生物学はコヒーレント放射光に何を期待するか?」

白澤 徹郎 (東京大学)：「X 線 CTR 散乱ホログラフィ法による表面・界面原子のイメージング」